

令和4年度市政モニター
「ぎふCITYウォッチャーズ」
第2回調査結果

テーマ

ごみの減量・資源化について

目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

お問い合わせ先

環境部 低炭素・資源循環課 TEL：058-214-2179／MAIL：tanso-sigen@city.gifu.gifu.jp

1 調査目的

今後のごみの減量や資源化の施策の参考とするため、市民の皆様のご意見を幅広く伺う

2 調査期間

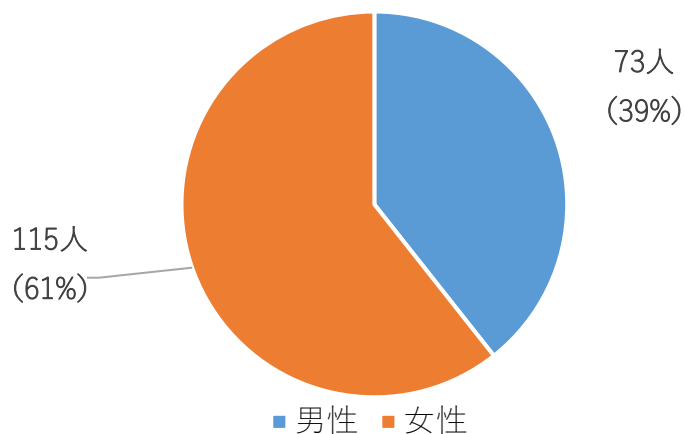
令和4年8月12日（金）～8月25日（木）

3 調査項目

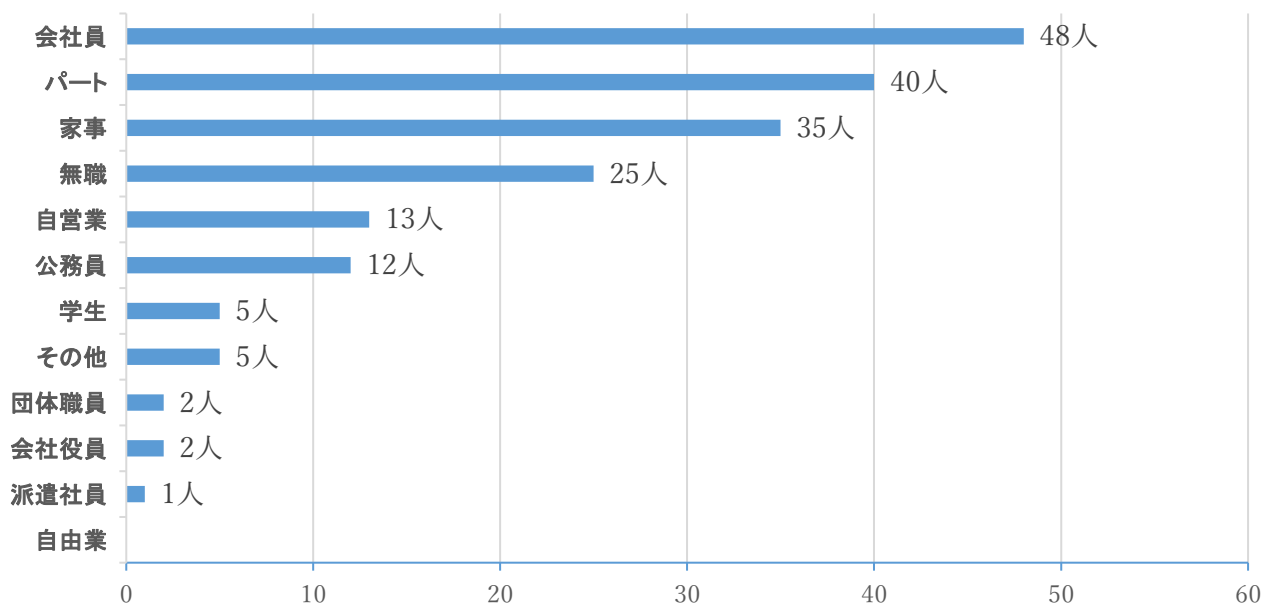
- ・ごみの減量・資源化について（問1～問11）

4 回答者属性

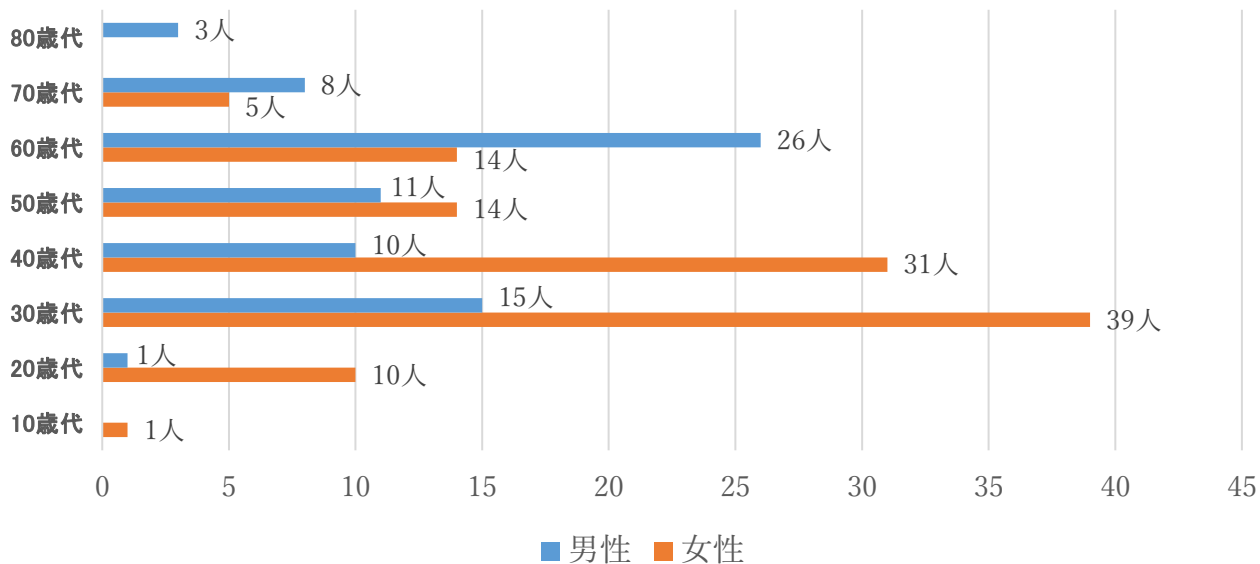
令和4年度市政モニター第2回回答者 性別別人数 回答者：188人



令和4年度市政モニター第2回回答者 職業別人数 回答者：188人



令和4年度市政モニター第2回回答者 年代別人数 回答者：188人



5 結果の概要

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

岐阜市の近年のごみ焼却量の現状について、89%の方がご存知ないという結果となりました。

資源分別回収は、地域で実施されている資源分別回収、又は民間施設に設置されている古紙等回収ステーション、あるいはその両方を利用している方が99%と、ほぼ全ての方が取り組まれていることが分かりました。

また、雑がみの分別を行っている方は80%、プラスチック製容器包装の分別を行っている方は95%であり、多くの方が取り組んでいる一方、生ごみの減量の取り組みを行っている方は約60%でした。

なお、プラスチック製容器包装の分別については、今後力を入れたいと考えている方が多いことが分かりました。

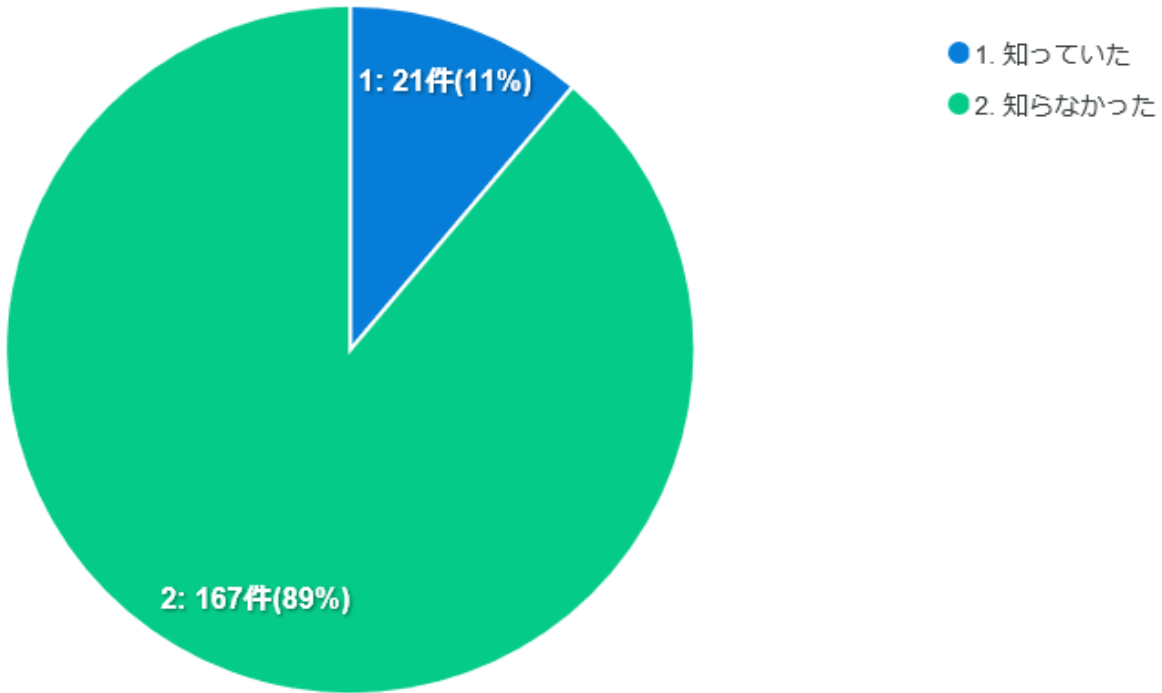
そして、ごみ処理の有料化が、ごみの減量意識につながると思う方は56%、ごみの減量意識につながると思わない方は29%でした。

ごみの減量・資源化はなぜ必要かという質問に対し、最も多い回答は地球温暖化対策として有益であるという回答でした。

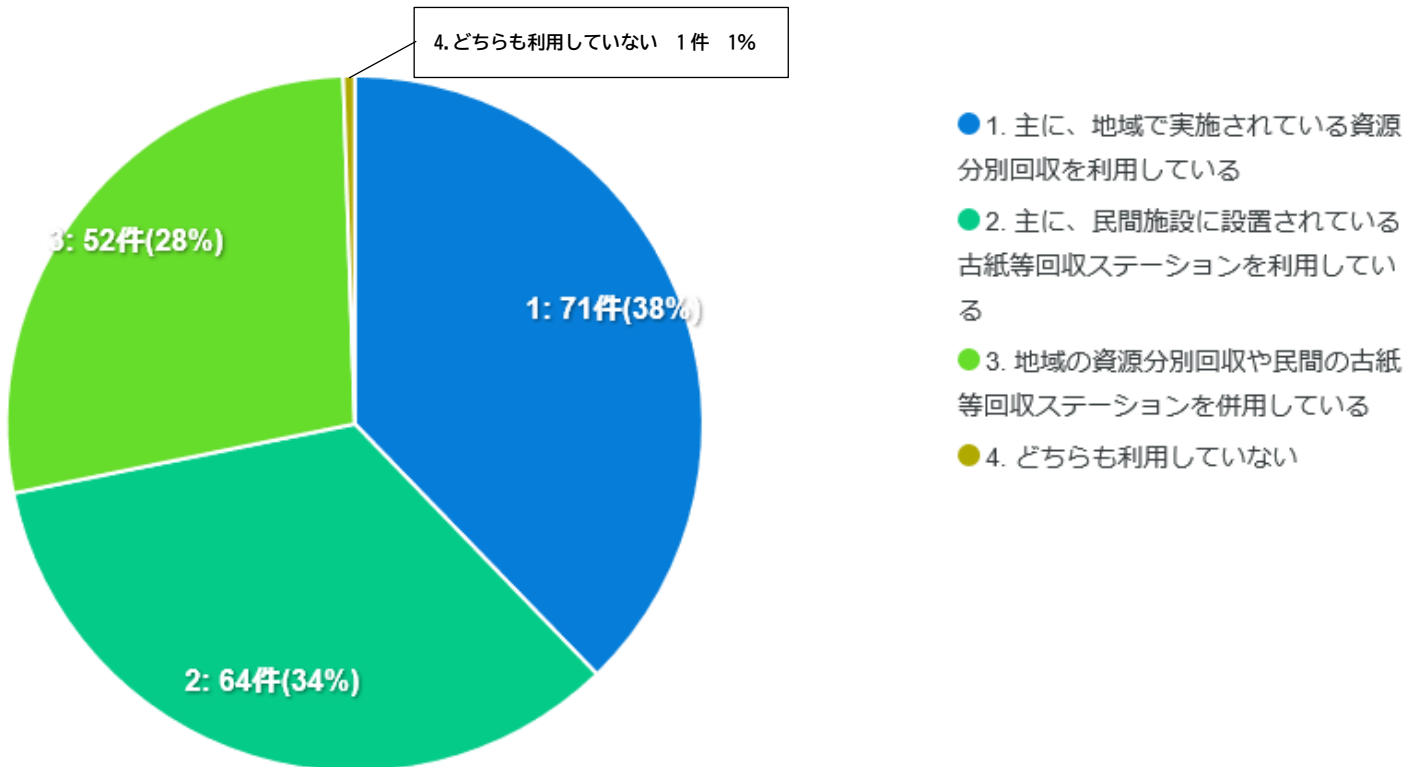
また、ごみの減量・資源化を進めるために、本市が果たすべき役割は何かという質問に対し、最も多い回答は、現在のごみの減量や資源化を推進する施策の充実でありました。

6 項目別の結果

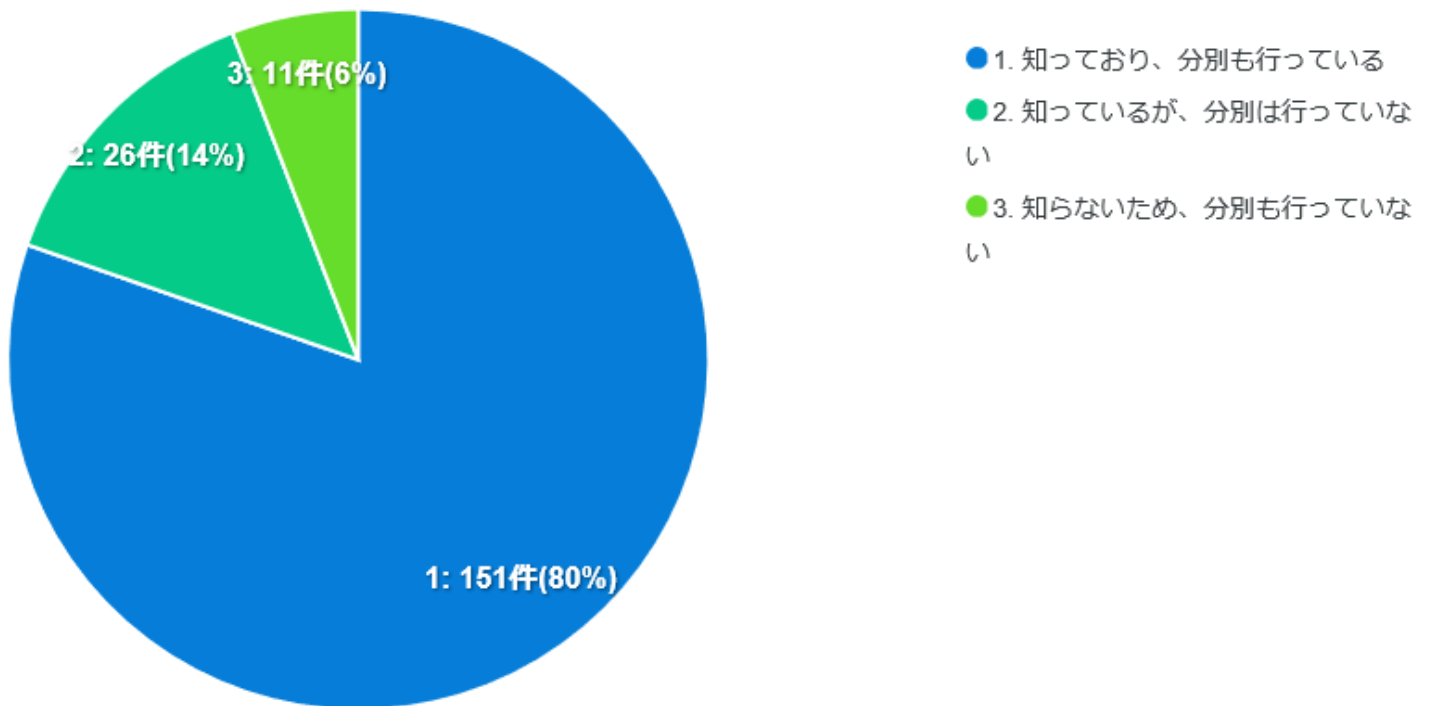
質問1. 岐阜市の令和2年度のごみ焼却量は、ピーク時の平成9年度から約3万tの削減（約19%の削減）となっています。しかし、平成27年度以降は大きく削減できておらず、ほぼ横ばいの現状であることをご存知でしたか。



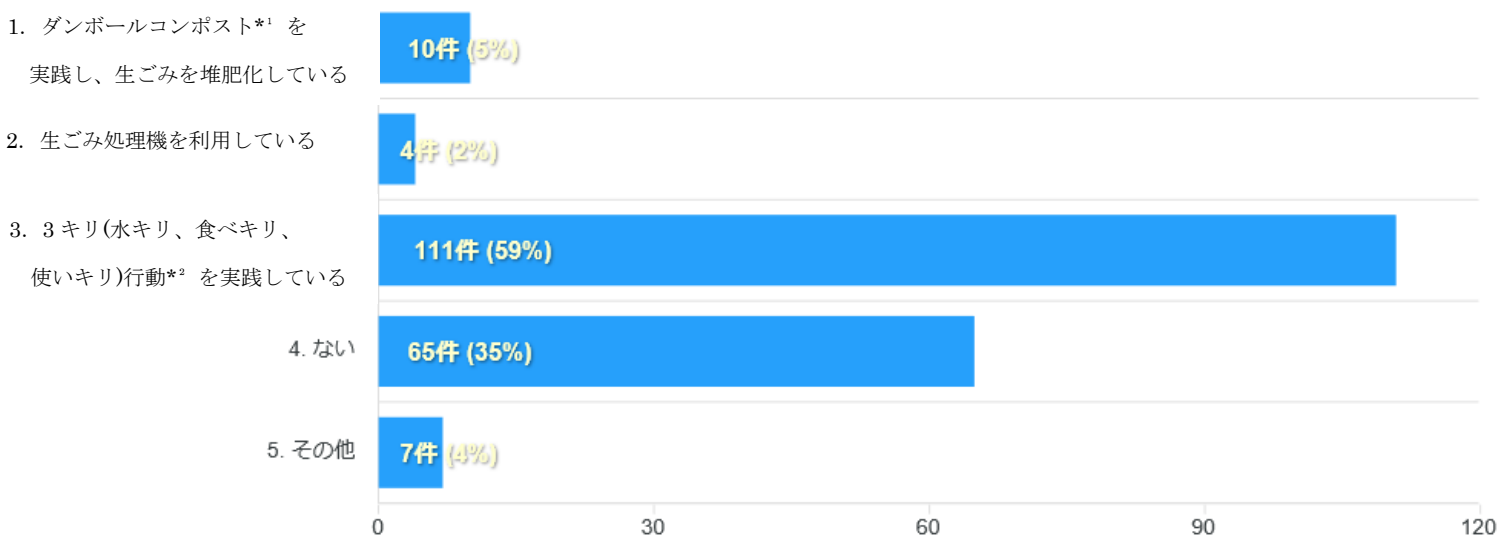
質問2. ごみの資源化のため、どのような資源分別回収に取り組んでいますか。



質問3. 家庭から排出されるごみの内訳は、紙類が一番多く、中でも雑がみ*が大部分を占めています。雑がみは資源として回収されることを知っていましたか。また、雑がみの分別を行っていますか。



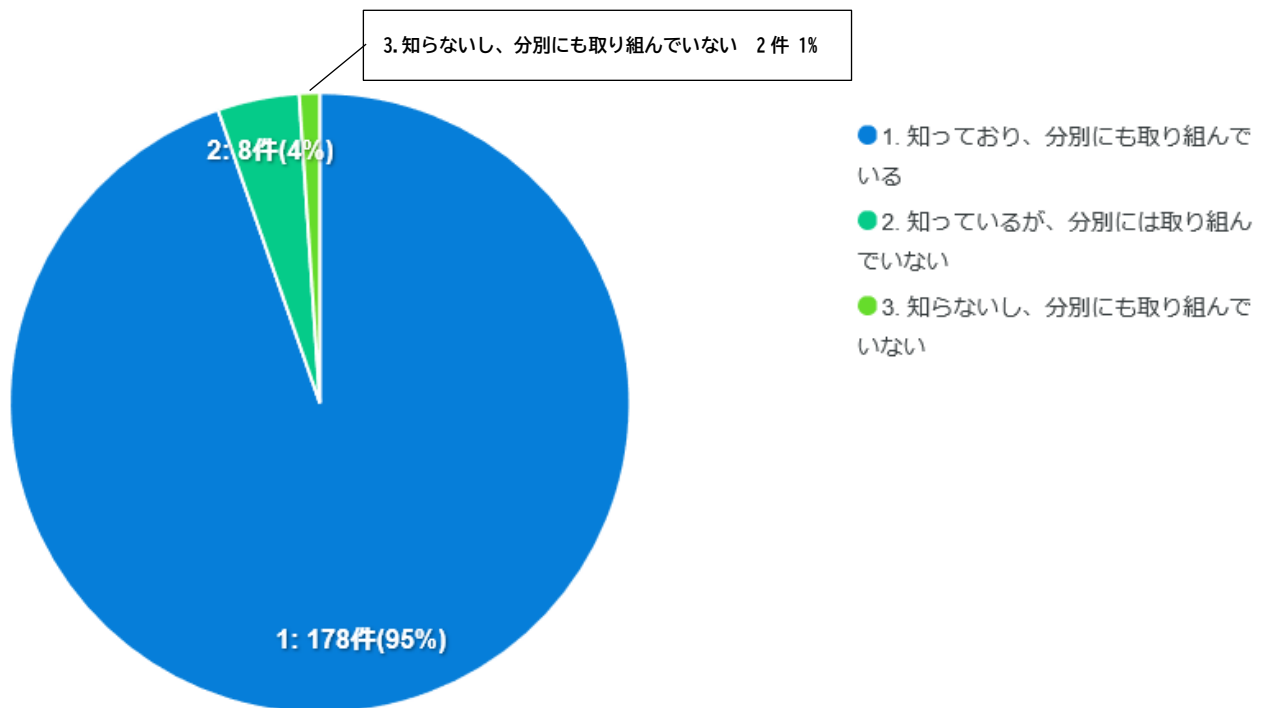
質問4. 生ごみの減量のために取り組んでいることはありますか。(当てはまるものを全て選択)



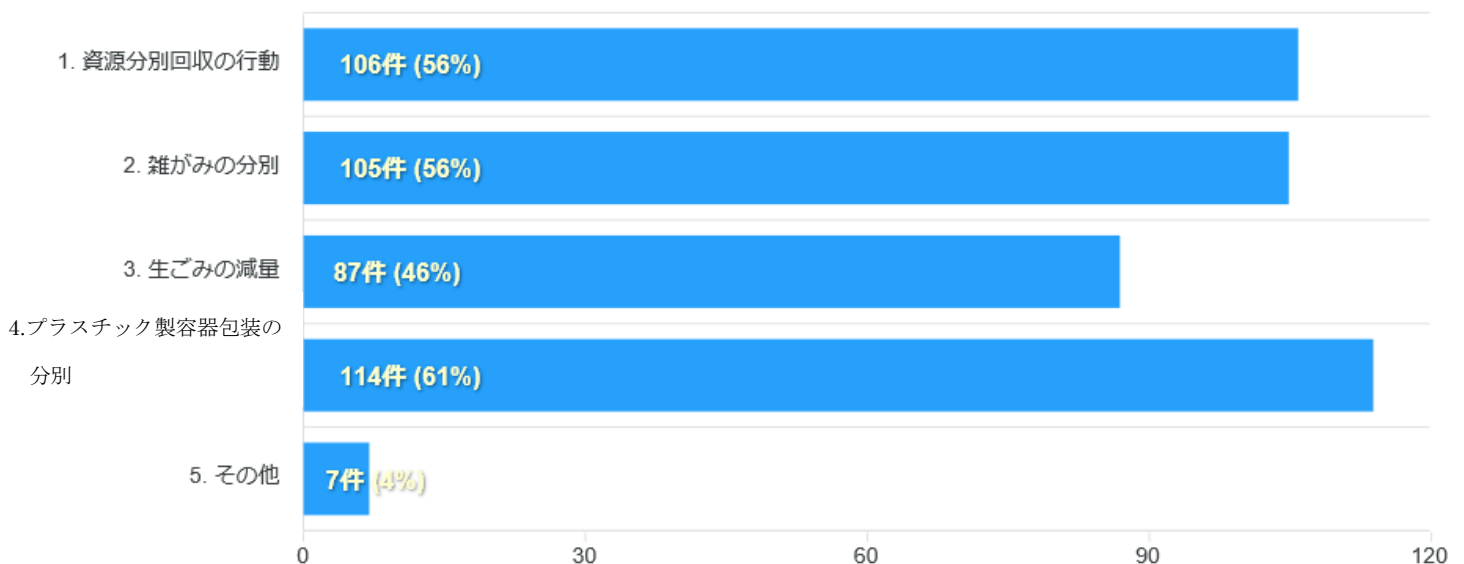
その他

- 自宅の畑に埋めている。
- 畑で生ごみ処理をしている。
- ダンボールコンポストは行っていないが、畑の堆肥にしている。
- 調理時の生ごみはディスポーザーで処理している。
- 生ゴミを極力出さないようにしている。
- 家庭菜園を行っているので専用のコンポストを使用して一年間寝かして肥料として使っている。
- LFC (バック型) コンポストを使用し、生ごみを堆肥化している。

質問5. プラスチックごみについて、本市では本年4月から、プラスチック製容器包装*の分別収集を開始したことを知っていますか。また、プラスチック製容器包装の分別に取り組んでいますか。



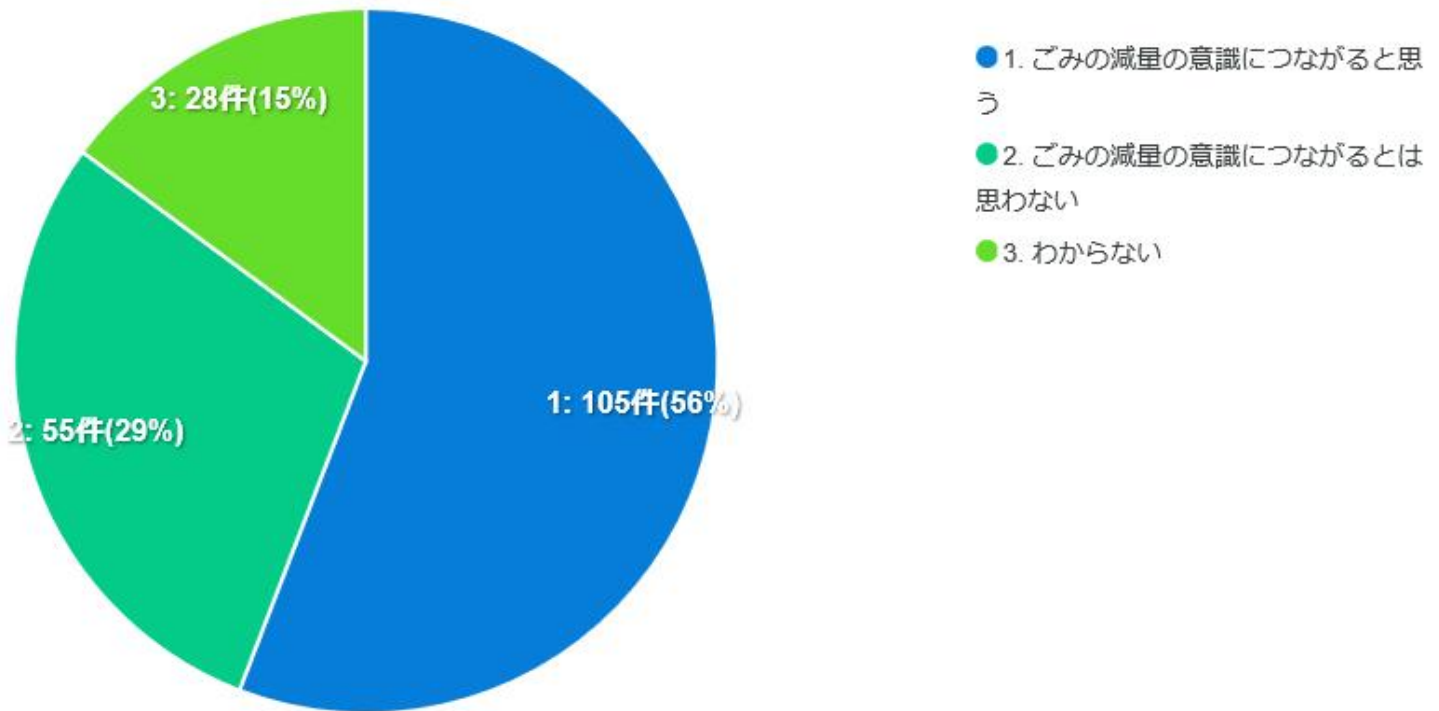
質問6. あなたが今後、力を入れたいと考えているごみの減量や資源化の取り組みを教えてください。
(当てはまるものを全て選択)



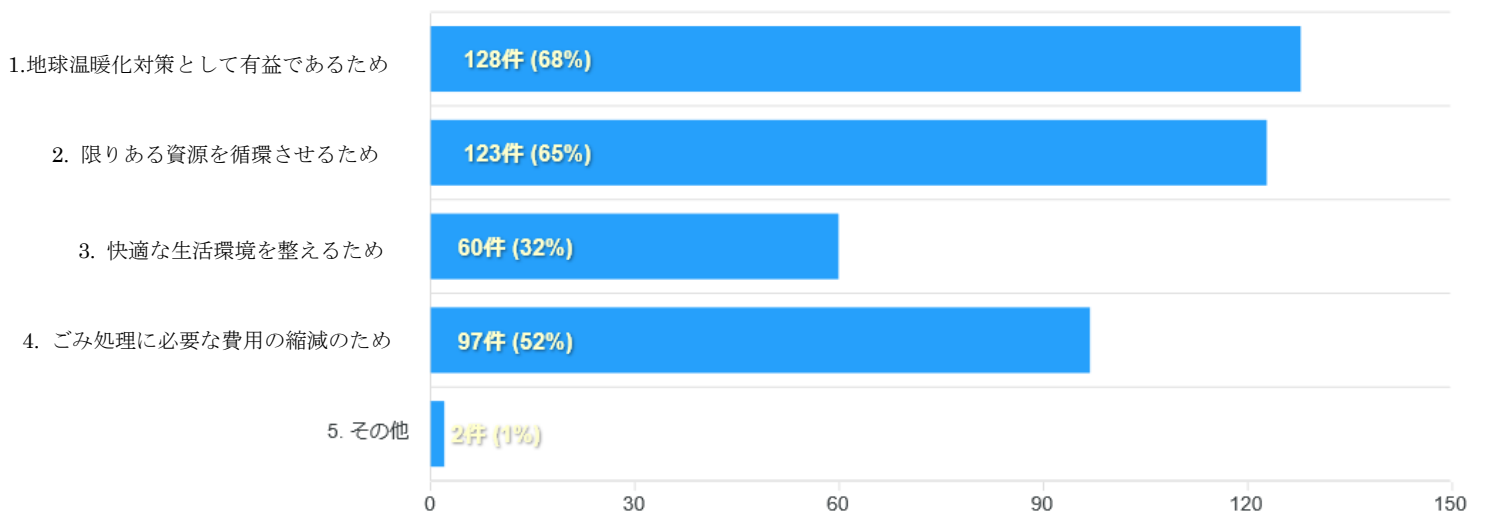
その他

- スーパーでの簡易包装を期待したい。いいものを長く使うようにしている。
- なるべくプラ容器のものを買わない選択をする。
- 家族への啓発。今家庭にある物を使い切ること、もうひと働き。また、不要な物を家庭に持ち込まない。
- ゴミを出さない(余らせない)生活の徹底。
- 食べられる量しか買わない。
- ゴミになってしまう使い捨て商品を買わない。

質問7. ごみ処理の有料化*を行った自治体を対象にした調査によると、多くの自治体において、有料化の翌年度にごみの量が減少しているとのこと。ごみ処理の有料化は、ごみの減量の意識につながると思われますか。



質問8. ごみの減量・資源化は、なぜ必要であると思えますか。(当てはまるものを全て選択)



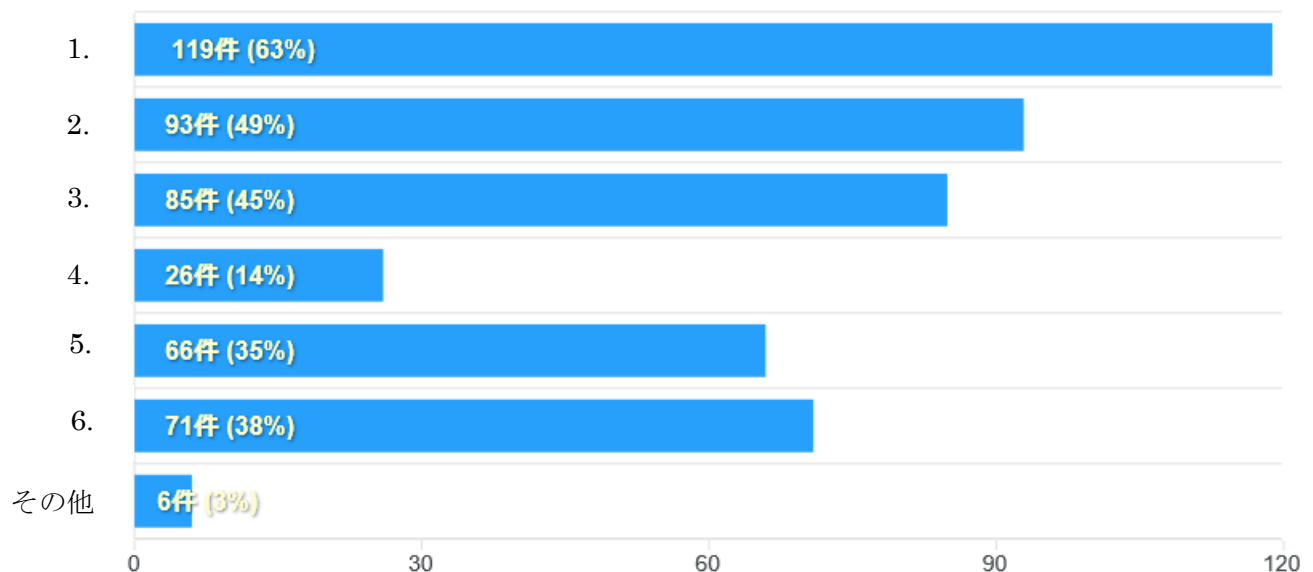
その他

- ごみ処理をした後のごみの処理場について気になっている。
- 資源の有効利用は言わずもがな、住民がゴミの減量や資源化への意識を持つことが需要だと思う。

質問9. ごみの減量・資源化を進めるため、本市が果たすべき役割は何であると思いますか。

〈選択肢〉(当てはまるものを全て選択)

1. 現在のごみの減量や資源化を推進する施策の充実
2. 剪定枝*の資源化や粗大ごみの再使用化など新たな施策の展開
3. ごみの減量・資源化に取り組む市民や事業者への支援
4. ごみ処理に必要な費用をごみの排出量に応じて求めること
5. 子どもへの環境教育や講座の開催などによる市民啓発
6. 広報紙、ホームページやSNSなどを通じた情報発信



その他

■ごみの内訳で雑がみが多いということだが、プラスチックごみのように法律で行う必要があれば皆さん行いが、地域の資源ごみ回収に提出となると、どれぐらいの人が資源ごみ回収を利用しているのか疑問に思う。アルミ缶、トレイ、牛乳パック、ペットボトルのようにスーパーで回収しているなら、買い物ついでにもっていくし、新聞紙や雑誌、段ボール、古着などは回収ボックスへ捨てに行くことが多いのではないか。現状を把握するとともに、減量化を行いたいならば、市民へのお願いばかりではなく、排出源となっている岐阜市内に出店している大手スーパーと話し合い、ゴミとなるものの減量化をする方が良いと思う。岐阜市の担当者の腕の見せ所だが、企業にとっても、コスト削減および環境問題への対応を行っているということで、イメージアップにつながる事が予想されるため、検討に値する案件になってくるものと思われまます。

■街路樹 庭木剪定で出されるゴミ、枝、葉の有効利用

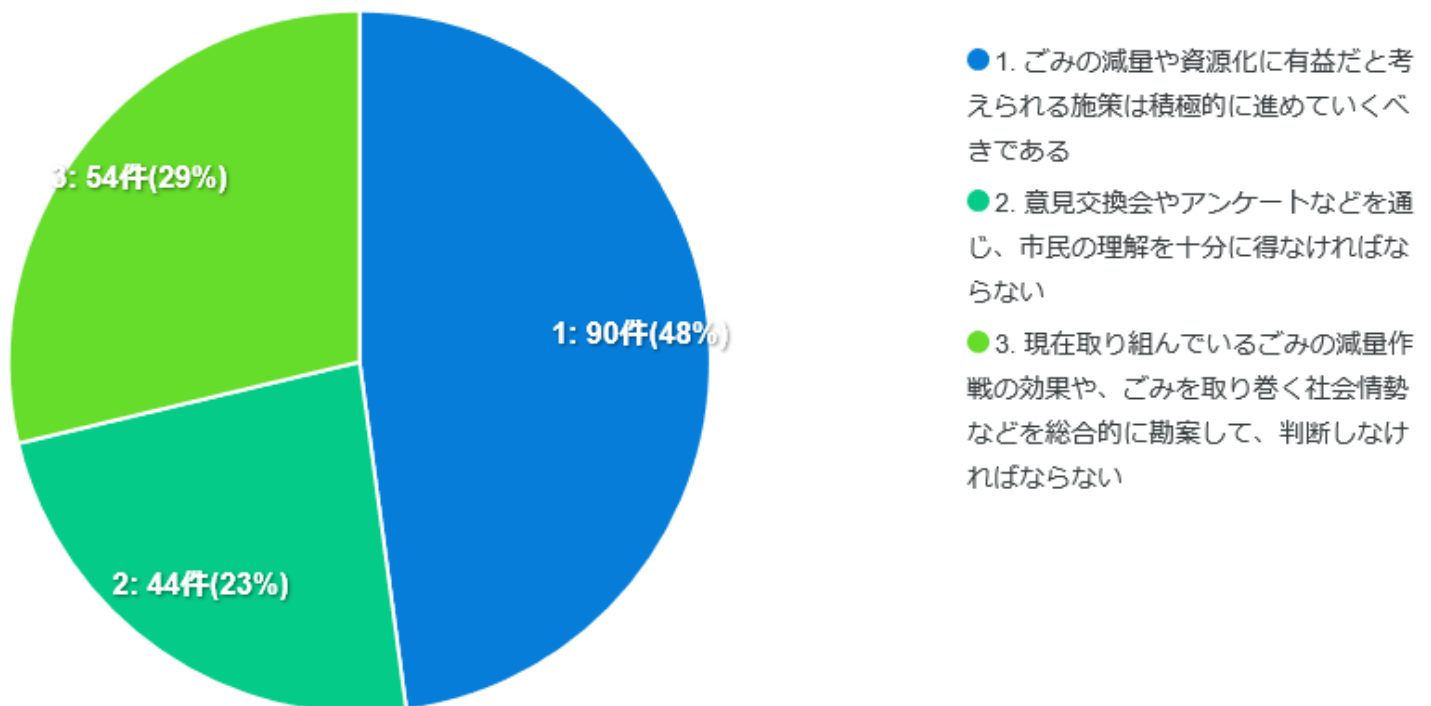
■分別した結果、どこでどのようにリサイクル等されているのが等、ゴミを出した以降が分かりやすく情報発信できると良い。あと、ゴミ袋を有料化していないのは素晴らしいと思っている。ゴミ袋をパンパンにしないと勿体ないと考えて、たまるまで捨てないと思える人が私を含めて沢山いると思われるので、ため込むのは衛生的に良くない

■減量、分別への交換にポイントなどのサービス

■ごみの減量には様々な思惑が絡み合っており、本当の削減には何が必要かわからない。

■難しいことかもしれませんが、昭和初期の頃のように簡易トレイ(プラ)や、ビニール袋を使用しないよう、スーパーなどが少しずつ変わっていけばいいと思います。実際に、フランスのスーパーでは袋で売っているのではなく、野菜類は欲しい個数を買えるので、ビニールの袋は極力使用しないという取り組みをしている。日本も見習って欲しいです。つまり、個人に訴えかけるより、企業に訴えかけて欲しい。

質問 10. ごみの減量・資源化に関する施策について、本市はどのように進めていく必要があると思いますか。



質問 11. その他ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。(一部抜粋)

【多様な資源ごみ回収について】

■地区の資源分別回収と多々ある民間事業者の回収、何か違いはありますか？やはりいつでも気軽に利用できる民間を利用する人も多いかと。私は地区の方です。(地区の財源？になると聞いたからです)

■地域の資源回収の回収方法が自治体によって違うのでわかりにくい。近所に収集場所があり、役割の人が資源回収場所に持っていってくれるシステムらしいが、いつ見ても資源ごみが置かれている様子が無いし正直、出して良いのか分からないし、役割の人の負担を考えると、別に車をもっている自分で直接資源回収場所に持って行けるので、自分でもって行きたい。以前の地域がそうだったので、その方が人の負担が少ないと考える。結局、出し方も分からないし、民間企業の回収は自分の好きな時に持って行けるので、私は地域の資源回収には出していない。

- 月一以上にもっと気軽に資源ごみも捨てられるようになるとありがたい。
- 資源ごみの回収を自治会に任せている場合が多いが、自治会の組織率は年々低くなっていることも考慮して、回収方法の見直しも考えた方がいいのではないかと。民間を圧迫しないように、業者と提携し、公共施設や市が所有している土地への回収ボックスの設置することも考えてはどうか。
- 粗大ゴミの抽選は再開したほうがよい。
- ジモティのようなことを行政で行って欲しい。
- 粗大ごみの捨て方が複雑・面倒で、家にごみがたまる一方。有料化してごみが減ったというのは、つまりはそれだけのことだと思う。チラシを配付してくる不法業者に引き取ってもらっていることもある。
- 高齢者にとっては、粗大ごみを半年に一度一定の場所で有料で集めてくれるとありがたいのではないかと。と思う。
- 子どもたちが園や学校にごみを持って行って集められる場所があると環境問題に触れられてよいのではないだろうか。例えば、トレイボックス、ペットボトルボックスなど。
- 今回のアンケートで回答したことは広報ぎふやメディアコスモスの特設会場で得た情報が多く、知っている知識のアンケートはとても答えやすかったです。
子供のものは高く買ったにもかかわらず、処分にもお金を払うことに抵抗があり、どう処分するか困っていました。先日児童館でリサイクルをつのり、無料でもらえるということをやっていたのをみました。予約をしていなかったので参加は出来ませんでした。処分費がかからず、必要な人に使ってもらえるのは嬉しいことだと思いました。なんでも粗大ゴミとせず、そういったリユースといった形もゴミを減らすことに有効です。物価高で欲しいけど買えない。と困っている人の助けにもなるのではないかと。先日の広報ぎふで同じような取り組みがあることを知ったのですが、仕組みがよくわからなかったのでも詳しく発信していただけると嬉しいです。
- 6月頃になると、信号機も見えなくなるほど生い茂る、道端の雑草や木々を生かすことはできません。運転者からしたらゴミですが、何か使い道があるなら、あれだけ大量に出てくる資源は貴重だと思います。

【紙ごみについて】

- 雑がみとして回収できるものの種類が分かりにくく、学校などで子ども達に教えてもらう機会があるとより集めやすくなると思う。
- 雑がみは捨てる用の紙袋をもっと沢山配布して欲しい。市の広報と一緒に月に一度配布してもいいのではないかと。各家庭に最初の一步を任せると、忘れてたり面倒だったり、結局やらないと思う。
- 雑がみ袋が無くなり当方も地域の方々も困っている。しっかりどう出せばいいかアナウンスしてほしい。
- 雑がみについて、初めて知った。勉強させていただきました。
- 雑がみに該当する物の周知をお願いします。分別はしていたが、トイレットペーパーの芯やティッシュ箱も該当するとは知らなかった為。

- 雑がみと「チラシ」などとの区別がまだまだ、不明確。「広報ぎふ」は「雑がみ」「チラシ」「新聞紙」のいずれか。行政から届く「封書」のセロハンは、取らなくても雑がみでよいか。

【生ごみについて】

- ゴミになるかならないかは個人次第なので、個人の意識次第だとも思う。食べられる量だけ買うとか
- コーヒーのかすを焼却するとメタンガスが発生し、地球温暖化に影響を及ぼすと知りました。コーヒーを愛飲する方も多いと思うので、この点についても何か対策ができるといいと思います。
- アパートやマンションだと、ダンボールコンポストを利用しづらいので、生ごみをリサイクルできないので、いいアイデアが知りたい。
- ダンボールコンポストを実施していますが、近隣で購入できなくなり困りました。自動車を運転しないので街中で購入できる場所を作っていただきたいです。
- 生ごみの削減に関して、農業、家庭菜園をしていない家庭にとっては、使い道が無い為ダンボールコンポストはハードルが高いと思います。その為、ダンボールコンポストキットの販売、出来上がった物の買い取り(キットより少し高い価格設定)をしていくのはいかがでしょうか。
- ダンボールコンポストは「虫」が湧いて処分に困ったので止めた。
- ダンボールコンポスト事業は長いですが普及率を知りたい。また堆肥にした場合、市などが買い取る制度もあるとよい。
- 生ごみ処理機の助成費用をもう少し引き上げると、購入する人も増えるかもしれない。

【プラスチックごみについて】

- プラスチックゴミがたくさんでるので、週2回回収してもらえたら有難いです。
- プラごみ分別を初めて、こんなに多かったのか…と実感している声を私も、周囲からも、聞きます。まだまだルール徹底や、分別に協力的でない方も見受けられます。やってる人はすでにやってる、やってない方の行動をどうしたら変えられるか考えて対応したいです。
- ゴミの分別は本当に意味があるのだろうか？プラを燃やさないことで、火力が下がって、燃料を使う話もある。
- 実際のところ例えばペットボトルがまたペットボトルに再生されるのではなく燃料としてリサイクルされているのが現状ではないかと思っている。この辺りをマテリアルリサイクルされているのか分かるようなアピールがあると協力のし甲斐がある。
- プラスチックのごみの分別は、多少汚れていてもいいのか、多少紙のシールが付いていてもいいのか、分かりにくい。少し汚れているなら洗浄も手間なので普通ごみにしてしまう人も大勢いると思う。いつもゴミの分別のお知らせの紙はとてもわかりにくいので、プラスチックごみ分別に特化した資料を作って配布して欲しい。
- プラゴミの分別が始まり、意識的にも変わってきた。

- 週1回のプラゴミ収集が始まり、個人的には大変助かっています。また、地域のいろいろな方々のご尽力で資源回収を開催いただき、感謝しております。個人レベルでの意識の違いを感じるころはあるが、分別が当たり前、ゴミ減量が当たり前の社会になると良いと思っています。
- プラごみを収集後、どのように処理されているのか広報して欲しいです。
- プラスチックの分別の仕方をもっと具体的に住民に示してほしい。広報などでプラ分別ポイントレッスンとして漫画などにして連載するなどの工夫が、必要なのではないか？捨てられたプラスチックはまた手作業で汚れているものと分別するという愛知県の番組を見た。そのことを知るだけで住民の意識は変わっていく。まだまだ工夫の余地が多くある気がする。担当者の方々に頑張っていたいただきたく思います。
- プラスチックゴミがリサイクル可能になったのはいい事だと思います。しかし、プラスチックゴミ自体を生み出さない事が大事なのではないでしょうか。以前暮らしておりました欧州のスーパーでは、野菜や果物は、量り売りで一つから購入でき、不要なパックやプラスチック包装もありませんでした。スーパー等でお客様から、有料で袋を買わせる前に、業者の過剰包装やスーパーのパック包装をやめさせるべきだと思います。
- プラスチック製容器包装の分別収集が始まり、燃えるごみよりもプラマーク製品のプラスチックごみの多さに驚いています。プラマークが目が行くようになり、分別意識に繋がっています。ごみ減量の「見える化」が分かりやすく伝われば、市民への理解や協力が得られるのではないかと思います。
- 雑がみ、プラの分別をやりきれていない家庭もあるとおもうので、まずはそこを何とか出きると思います。
- ゴミ分別の周知徹底が図られていない（プラごみなどは今年4月に始まったばかりだけれど、リーフレットがわかりにくかった）
- 自治会の副会長をやっています。プラスチックゴミの分別を徹底するために、4月から6月末迄、「プラスチック製容器包装」分別収集が始まりますと、回覧を2か月間事あるたびに、流しました。ある程度は皆さんに理解してもらえたのではないかと、思っています。
- プラスチックの資源回収開始は遅かったと思う。他地域の人と話をすると、時代が遅れすぎており良く笑われた。分別しないのは正直楽だが、将来の為にも積極的に取り組みたいと思う。
- 資源別回収を行って、如何にプラごみが多いことか認識した。このことから包装材等にプラスチックを極力利用しないことが施策一つである。ごみの有料化を図ることよりもプラスチックの製造、流通を減らすことが大事だと思う。一般家庭にごみ処理の負担をかけるよりも業者に負担をさせるべきである。プラだけではなくビン・缶も然りである。
- プラごみの分別が始まって、普段出していた可燃ごみが半減しました。言い換えればプラごみが半分を占めているのです。最初は皆さん戸惑っていましたが、分別収集を初めて良かったのではと思います。ただ、その後、プラが本当に有益に処分されているのか市民にはわからないので情報発信してほしいです。

- 3月の自治会広報誌にプラゴミを事前回収した写真を投稿して、少しは地域啓発になったのかなあと自己満足。しかし、「シビックアクション」の時、混入物が2割もあることを知りました。無理もない。まだまだ行政の取り組みに課題あり。
- 現在、自治会にて班長を務めています。自治会に入会されてないお宅は、プラゴミの回収が始まったことを知らない方が多く、「ゴミの日じゃないのに捨てている人がいる。」と、言われる方がおり、資源ゴミ回収の情報が行き渡っていないのだなど実感しました。回収率を上げるためにも、資源ゴミ回収の情報を行き渡らせる工夫が必要になると思いました。
- プラゴミのリサイクルの成果を出してほしい。
- スーパーなどが率先して発泡スチロールやパックの製品を廃止しない限り、末端の消費者に頑張れと言っても無理な話です。ヨーロッパなどでは、瓶を消費者が持参して豆や乾物、飲料を量り売りしてくれる店もあります。日本のスーパーはいつまで経ってもそうなる気配もないです。
- プラスチック容器の分別をしっかりとやっていきたい
- プラゴミを出す場合、全てきれいに洗うというのは水道代もかかるし、洗うことによる水の汚染などはどうなのかと疑問がある。
- コンビニ等のレジ袋が有料化されたため、結局100円均一ショップで生ごみ用に小さなビニール袋を購入しています。一般市民の首を絞めるような政策は中止してほしい。
- 個人では限界があり、企業がごみそのものを減らす取り組みが必要だと思う。品物の過剰包装も多すぎるため、通販において無駄な梱包を減らすなど。

【事業系ごみについて】

- 市内事業所への啓発活動を積極的に進めるべきだと思う。
- 家庭で出来る雑がみの処理は勿論やっているが、生活をしていて関わる学校や会社・企業でのコピー用紙等の使用後の無駄紙がとて多く、また資源でなくゴミとして扱われるものも多くてもったいない精神で心が痛む。個人情報だとか企業秘密だとか色々あるのでシュレッダーにかける必要性も分かるが、せめて、そうではない書類だとかはどうにかならないものかと思う。
- 岐阜市食べきり協力店につきましては食べきれなかったときお店の方がお持ち帰りできますよとアルミホイルに包んでもらえた。こうしたお店を増やしていただきたい。こうした対応のお店はまた利用しようという気持ちになる。
- インクカートリッジを回収してもらえる場所を増やしていただきたい。すべての郵便局に回収ボックスをもうけるなどして欲しいです。

【ごみ処理有料化制度の導入について】

- ゴミ袋の有料化などにより、一定の減量化が進むと思いますが、ある市のように、1袋60円という価格設定をしてしまうと、減量化よりも不法投棄が増えていくので、もし行うならば、価格の設定には十分気を付けてください。

- 岐阜市のゴミ有料化は反対です。結局は職場などへこっそり持ち込むなど、不正が増えるだけです。
- 有料化の翌年度にごみの量が減少しているとのことですが、本当に減っているのか、あるいはどこかへ不法投棄されていないかしっかり調査しなければいけないと思います。
- ごみを排出する指定袋を有料化することには反対します。しかし袋代が市販の袋と同じならば賛成です。
- ゴミを減らすことが大切な事はみんな知っているが努力については人ごとでなかなか強化されて無いと思う。ゴミ処理の有料化と聞くと嫌だなと誰もが思ってしまうのですが、まずは近隣の市のようにゴミ袋を指定のものにして、ゴミをやたらと増やさない努力をしてもらうのがいいと思います。
- 住んでいるマンションの話ですが、可燃ごみの場所に粗大ゴミが捨てられており、回収不可のシールが貼られたまま、長期に渡り放置されています。最終的には住人が管理会社に申し出をして、処理してもらおうという事が何度もあります。ルールを守る人はそもそもゴミ減量や分別を心がけていると思いますので、有料化にしてもあまり変わらないようなイメージがあります。ルールを守れない人は一定数存在すると思います。

あちこちでゴミの不法投棄の話をお聞きしますので、不法投棄に対する厳罰化を徹底していただくような取り組みもお願いしたいです。事業ゴミの不法投棄をする業者だけでなく、一般市民も不法投棄をしたら必ず罰せられるという事を大きく発信していただければと思います。
- 確かに有料化するとゴミは減るとは市民感覚で思いますが、まずは現行のままで何がネックになっているのか、分別が徹底できない方の理由を探り、改善したいです。

減量できることによるメリットが実感としてわかりにくいですが、たとえば小学校や中高生にも理解を深め、家庭内以外の場面も含めて分別の徹底、分別のできるゴミ箱の設置対応（例えばショッピングモールのフードコートなど）などに広がるといいなと思います。
- 有料化しなくてもゴミ減量に成功した岐阜市を目指してほしい。
- ゴミ袋有料化されると、公道の落ち葉のゴミが非常に多いため、困る。ひろいたくなくなる。岐阜市で清掃してほしい。
- ごみ収集を有料化すると、かなりごみの量が減るという統計があるようですが、なぜ減量するのか不思議です。分別をしっかりとするようになるからなのかもしれませんが、不法に処理したりしないのかの不安もあると思います。
- 普通ごみの有料化を検討する際は、自治会加入者を中心とした説明会を開催すべきです。
- ごみの現状を見る限り有料化も考えるときかと思う。
- 家庭ごみを有料化するのであれば、回収の頻度を多くするなどのサービスの向上とセットにして欲しい。
- 有料化にした場合を特化して、予想される削減量、費用削減額や家庭での負担額などを数字で示して広報する機会があればと思います。（今の資料は全体がわかりやすいので、今後は個別の案件をさらに掘り下げた広報があるとよいと思います。）その他、これからを担う子ども達への啓発教育も大変重要と思います。

- ごみ袋を有料化することにより、不法投棄が一層増えることを心配します。
- 岐阜市近郊でゴミ処理を有料化していないのは岐阜市だけだと思います。金額は高くなくてもいいですからゴミ袋の有料化に取り組んでほしいです。
- ゴミは各自意識して少しずつ取り組めたらいいなと思います。有料にはなってほしくないです。
- ごみの有料化は、コンビニやスーパーのゴミ箱に捨てる人が増えそう。
- 自治会に未加入の世帯でのゴミ削減意識が低いと思います。意識改革として有料化はありと思いますが、全世帯への徹底した情報提供が必要だと思います。

【その他】

- ゴミの出し方がいい例悪い例知りたい。ゴミ処分にかかる費用、財源？が減る事で市民が払う税金が減ったり（可能かどうかはわかりませんが）、違うことに財源が回せることを具体的にわかるとゴミ分別やゴミ減量に取り組む意欲に繋がる？
- 指定の場所が通りにあるためか、通りがかりの人が、投げ捨てていく。カラス、猫が荒らして困っている。心ある住民が（当番制で）掃除するが、また、収集する方たちがきれいにしてくれてくれるが。指定の場所にルールを守って出してほしい。ゴミ出しの箱とかしっかりしたものが欲しい。
- 買い物のついでにペットボトルやビンカン、トレー等はスーパーの回収箱。これは私の役目で実行済み。重い段ボール・新聞・チラシ・電池等の月一回分別回収は主人の役目です。加えて春から、プラごみや雑紙の分別が始まり、正直、慣れるまで配布された分別内容を確認しながらの仕分けとなり、年寄り泣かせで面倒くさいなあ・・・と思ってました。が、日ごとに慣れてくると、今では一瞬にして「これはプラごみ」「これは雑ごみ」と脳トレを実践？簡単に判定できて、楽しい作業になりました！何よりの発見は、プラごみが一番早く溜まり（雨に新聞をいれるビニール袋に目いっぱい押し込んで火曜のゴミ出し日までに3~4袋）、生ごみは毎夜、三角ポットに溜まった野菜ごみの処理だけで一番少なくなりました。そうすると、以前使っていた45?のビニール袋が全く不要となり、めったに使わない剪定枝専用となりました。大きなゴミ袋がいらないので、以前、買い物する度にお店で無料配布だったビニール手提げ袋を重宝しています。毎回ごみの量に合わせた買い物袋に週一回一袋でOK。びっくりするほどの超激減化を実感できて、自信ができました。「高齢者でもまだまだ役に立つ！」ごみ減量作戦を実行していることに快感を感じる今日この頃です♪問題は、ゴミ袋として使い道のなくなった、45?30?の透明袋が床下収納庫で邪魔になりました。今後は大掃除で不要になった古着等の処分にでも使うつもりです。
- 高齢者には細かい分別は難しく、ゴミを出す曜日も混乱する。今後、このような人が増えることも視野に入れたほうが良いと思う。
- ゴミステーションのカラス対策。カラスの駆除を含め対策実施希望。
- 市内の高層マンションが増えているが、最大の課題はゴミ処理だと聞いたことがある。我々と一緒に更に行政にも頑張ってもらいたい。

- 手間がかかるかもしれませんが、地域エリアごとのゴミ量について、数値で見える化できればよいと思います。
- ゴミ袋が半透明だと、カラス避けネットをしてもカラスに荒らされてしまうので、近所では新聞紙でゴミを包んだり、黒いゴミ袋に入れて、その上から透明のごみ袋をかぶせてゴミ出しをしています。それなら、黒いゴミ袋でのゴミ出しを可能にもらえる方が助かるのですが、無理なのでしょうか？
- 回収する場所を増やして欲しい
- 金華山山頂の木の伐採は止めてください。限りある森林資源の保護に努めてください。
- 設問で本市の施策部分が抽象的過ぎてわかりづらい。本市の施策部分を具体的に書いて欲しい。
- 非自治会員への情報共有。ゴミ収集の情報が自治会員には広報なので連絡できるが非会員に対して連絡できない。
- 現在、自治会の複数の住民は、指定された曜日に、指定された場所にごみ等など出すようにしていますが、地域によっては自宅前の個別単位で集荷されているようですが、どうして個別が許可されているのですか。転居などで新しく仲間に入られた方から指定された場所へのゴミ出しなど不満の声が聞かれます。市内のすべて地域で複数の住民が同一の指定の場所に出すように変更できませんか。また、この4月からごみ出しの変更や内容などについて記載した冊子が自治会から配布されましたが、全ての住民が自治会の会員ではなく、変更内容がすべての住民に徹底されていけませんので最初はトラブルになりました。自治会に加入している人が60%前後の現在、自治会を通しての徹底や連絡などでは無理があるように思います
- 自治会に入らない方のゴミ出しルールを市として制定してほしいです。
- 岐阜市に行っているごみの減量に対する取り組みは、徐々にではあるが確実に効果を上げていると思います。国連や政府の掲げている取り組みにも積極的に対応し、市民への啓蒙や施設の充実に取り組まれていることはよくわかっています。しかし個々の市民に意識が浸透するには時間もかかると思います。効果は必ず現れてくると信じています。
- 問題が大きすぎて悩みます。要は個人の意識だと考えます。生活が便利になった分、多くのゴミが出てしまうのは事実。やはりリサイクルを強化する方が早いのでしょうか？“岐阜市”に期待するばかりです。
- ゴミの減量・資源化は難しい問題ではあるが、正しい知識をもち、市民が実際に行動していけるようになると思う。
- 岐阜市税収におけるゴミ処理施設の維持費の割合をもっと市民へアピールすべきだと思う。
- 市内在住勤労者にもゴミ出ししやすいような休日や夜間早朝にごみが出せる仕組みがほしい。
- 広報誌で各地域毎にごみの減量や資源化の改善度合を発表して成績上位の地域に地元企業で使用出来るポイントを付与する。また、住民にとってプラマークのように表示されているものは理解できても、マークのないものは資源化出来るか否か判断が付かない。我が家では広告やカレンダーのような、裏が白い紙はメモ用紙として利用しているがこの様に住民が気がついていない事でごみの減量に繋がる事があれば教えて欲しい。

- 通販サイトなどからのカタログやダイレクトメールが多く、迷惑でもあり、資源の無駄使いではないかと感じています。
- 地球で生きている生物で、物を加工して形を変えたり、ごみを出しているのは人間だけだと思う。その為、それによって、温暖化など、自然を破壊しているのであれば、自覚し、できるだけ迷惑をかけないようにする責任があると思う。

7 今後に向けて

アンケートを通じ、プラスチックの分別をはじめとしたごみの減量に、多くの方に取り組んでいただいております。一方で、岐阜市のごみの現状について、市民の皆様への情報発信が行き届いていないとの意見も頂きましたことから、より一層の情報発信に努めてまいります。

そして、今後、改定した「ごみ減量・資源化指針」に掲げた施策とともに、今回頂きましたご意見を参考に、ごみの減量や資源化の推進に努めて参ります。

お問い合わせ先

ごみの減量・資源化について（問1～問11）

環境部 低炭素・資源循環課

TEL：058-214-2179／MAIL：tanso-sigen@city.gifu.gifu.jp